

30P1-am010

自学自習のためのe-Learningの実践を目指して:学生参加型の動画教材の開発

○武田 直仁¹, 竹内 烈¹(¹名城大薬)

【目的】技能の習得が学習目標のひとつである学生実習において教材の電子化は、学生の学外（自宅など）での自己学習を効果的に支援するものと考え、実習講義や実験操作などの動画ファイルを試作してきた。今回、動画教材を学部学生との共同作業で作成することを企画した。

【方法】教材作成に興味のある学部学生を募り、主に夏季休暇期間や講義後の夕方に動画編集を共同制作する実施形式を計画し、学生の勉学を妨げないように配慮した。電子教材の作成に当たっては、教員が編集ソフトなどの基本操作についてガイダンスや指導を行い、教材の内容について企画立案をした。試作した電子教材を実習期間中に試用することで、教材の形成的評価を行った。また、ポストアンケート調査などにより、他の実習担当教員や履修学生に評価してもらうことで教材の改善点を見出し、フィードバックを図った。

【結果及び考察】 学生参加型の e-ラーニング教材の開発は他大学情報学部の映像制作の教育課程に有効例が報告されているが、この領域の専門家を養成するわけではない薬学部学生をこのような教材開発に参画させる試みはあまり例をみない。ビデオ編集はパソコンに興味のある学生には比較的容易である。外部委託では、講義内容を理解させるために教科担当教員とのコミュニケーションに相当な労力がかかることから、結果的に非常にコストがかかる。適切な組織体制と教員指導があれば、低コストで良質な電子教材を学生実習に提供できることがわかった。制作に携わる学生は実習・授業内容を経験・理解しているため、制作を通じて自己復習を余儀なくされる。教材は後輩が利用するため、この方式を受け継ぐことにより、後進の育成や教材の質の改善も容易であり、他の教科のみならず他の理系学部の実習教育にも拡張できる試みである。